

山形には、  
**有機農業の匠**が  
19人もいるペロ〜♪  
〔平成29年度現在〕  
有機農業に関する  
相談にのってくれる  
ペロよ!

「やまがた有機農業の匠」は、山形県が有機農業の取組みを一層拡大するために認定した熟練の有機農業実践者をいうペロ。  
「やまがた有機農業の匠」には、新たに有機農業に取り組む農業者に、栽培技術や経営指導などのサポートや、県が進める有機農業の技術開発や情報発信などにも協力していただいているペロ♪  
匠に相談を希望される方は、最寄りの農業技術普及課までお気軽に連絡してペロね。

地域別 農業技術普及課 連絡先

- 村山農業技術普及課 ☎ 023-621-8276
- 西村山農業技術普及課 ☎ 0237-86-8214
- 北村山農業技術普及課 ☎ 0237-47-8633
- 最上農業技術普及課 ☎ 0233-29-1325
- 置賜農業技術普及課 ☎ 0238-57-3411
- 西置賜農業技術普及課 ☎ 0238-88-8212
- 庄内農業技術普及課 ☎ 0235-64-2103
- 酒田農業技術普及課 ☎ 0234-22-6521

 <p>新庄市 <b>石井昭一さん</b> — 主なエコ農産物 — 米 大豆</p>	 <p>新庄市 <b>渡部陽一さん</b> — 主なエコ農産物 — 米</p>	 <p>米沢市 <b>小関恭弘さん</b> — 主なエコ農産物 — 米 大豆 小麦</p>	 <p>南陽市 <b>渡沢賢一さん</b> — 主なエコ農産物 — 米 さといも にんじん</p>	 <p>南陽市 <b>竹田久一さん</b> — 主なエコ農産物 — 米</p>
 <p>南陽市 <b>黒澤信彦さん</b> — 主なエコ農産物 — 米</p>	 <p>高畠町 <b>遠藤五一さん</b> — 主なエコ農産物 — 米 ぶどう</p>	 <p>高畠町 <b>小林亮さん</b> — 主なエコ農産物 — 米 えだまめ 野菜</p>	 <p>高畠町 <b>渡部宗雄さん</b> — 主なエコ農産物 — 米 ぶどう 野菜</p>	 <p>川西町 <b>高橋健次さん</b> — 主なエコ農産物 — 米 大豆</p>
 <p>川西町 <b>村岡謙二さん</b> — 主なエコ農産物 — 米</p>	 <p>鶴岡市 <b>志藤正一さん</b> — 主なエコ農産物 — 米 えだまめ</p>	 <p>鶴岡市 <b>小野寺喜作さん</b> — 主なエコ農産物 — 米 えだまめ</p>	 <p>鶴岡市 <b>相馬一廣さん</b> — 主なエコ農産物 — 米</p>	 <p>鶴岡市 <b>小野寺裕さん</b> — 主なエコ農産物 — 米</p>
 <p>酒田市 <b>石川正志さん</b> — 主なエコ農産物 — 米</p>	 <p>三川町 <b>菅原孝明さん</b> — 主なエコ農産物 — 米</p>	 <p>三川町 <b>菅原 誠さん</b> — 主なエコ農産物 — 米</p>	 <p>庄内町 <b>今野裕之さん</b> — 主なエコ農産物 — 米</p>	<p>匠やエコ農家さんの活動やイベント情報をフェイスブックにて発信中!</p> <p>『山形エコ農家フェイスブック』で検索してみてね!</p>



完全保存版

Yamagata Ecological Agricultural products  
**やまがた  
エコ農産物ライフ  
スタートガイドブック**



ぼく『ペロリン』! 環境にやさしく、安全で安心な山形県産の農産物・加工品等のシンボルだペロ♪ 山形県内で環境に配慮して生産された農産物(エコ農産物)や、その生産者(エコ農家)さんを紹介していくよ!!

じゃあ、最初に問題!! 上の写真の中で、やまがたのエコ農産物に関係のある写真は、どれだと思うペロ?

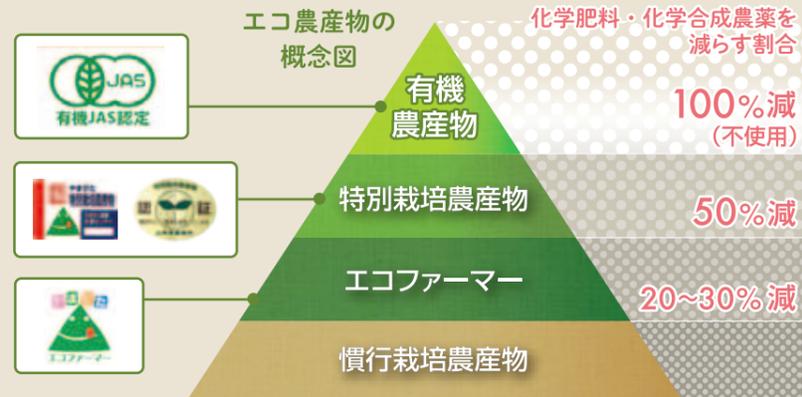
正解は次のページへ Go! =>

**正解は  
ぜんぶペロ**

わかりやすく簡単に  
解説するペロね!

**エコ農産物とは、地球環境への負担をできるだけ抑えて生産された農産物のことで、化学肥料や化学合成農薬を一般の農産物より減らして生産されているペロ。**

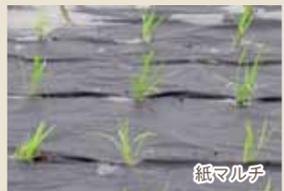
下の図のように、化学肥料や化学合成農薬の使用量を減らす割合によって分類されていて、全く使わないものを「有機(またはオーガニック)農産物」というペロ。



**エコ農産物を生産するために、いろいろな工夫をしているペロよ。**

田んぼでは、かもやカブトエビに雑草を食べてもらっているペロ。そのほか、チェーンを引っ張って除草する方法もあるペロよ。田んぼや畑に紙を敷く方法は、「紙マルチ」といって、日光を遮って雑草が育たないようにしたり、土の保温や保湿効果もあるペロ。農薬を使わない田んぼや畑ではたくさんの生き物が育まれているペロ。田んぼの生き物調査をして子どもたちに知ってもらおう活動をしている生産者もいるペロよ。

麦やなたねを収穫したあとの田んぼに水を張ることを「なつみずたんぼ(夏期湛水)」といって、次に種を播くときに雑草が生えにくくなり、土が肥えたりするペロ。また、水を張っている間に、水生生物が生まれ、それを求めてたくさんの種類の鳥がやってくるペロ。



**山形の  
エコ農産物は  
お米が多い  
ペロよ~**

へ~! エコ農産物は地球環境のことも考えて、生き物と共存しながらつくられているんだね。 ぼくも田んぼの生き物を観察してみたいな! ところで、山形のエコ農産物ってどんなものがあるの?

特に山形を代表するお米「つや姫」を栽培する場合は、有機栽培か特別栽培でしかつくっていけないことになっているペロよ。  
お米のほかにも、野菜やくだものもあるペロよ!



あ、「つや姫」に有機JASマークが貼ってあるのを見たことがあるわ!! やまがたのエコ農産物って、他にどんなものがあるって、どこで買えるのかしら...

**ホームページを  
チェック!**

「山形eco農家ウェブサイト」で詳しく紹介しているペロよ

山形県が運営する環境保全型農業情報サイト「山形エコ農家」を見ると、やまがたのエコ農家さんがどんなエコ農産物をつくっているのかとか、またそれを買う場所や食べられるお店などが、わかるようになっているペロ。



エコ農家さんからの情報をもとにお伝えしているので、これからもっと情報が増えていくペロよ。



本当だわ! こんなにたくさんエコ農家さんがいて、熱い思いを持ってエコ農産物をつくっているのね。早速、お店に買いに行こうかしら!

エコ農産物は環境にやさしい方法で生産しているから、一般の農産物よりも収穫できる量が少ない場合もあるペロよ。お店にない場合は、直接エコ農家さんに問い合わせさせてみてペロ。



山形県が運営する環境保全型農業情報サイト  
**山形eco農家ウェブサイト** —「山形エコ農家」で検索—  
<http://yamagata-ecofarm.com>

